

2012年度(平成24年度)

事業報告書



学校法人 大阪女学院

大阪女学院大学  
大阪女学院短期大学  
大阪女学院高等学校  
大阪女学院中学校

〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造 2-26-54

学校法人 大阪女学院 法人事務局

TEL: 06-6761-4013 FAX: 06-6761-0348

## 目次

I. はじめに	
理事長メッセージ .....	1
II. 法人の概要	
1. 建学の精神（ミッションステートメント） .....	2
2. 学校法人の沿革 .....	2
3. 設置する学校・学部・学科等 .....	3
4. 学校・学部・学科等の学生数の状況 .....	3
5. 役員の概要 .....	4
6. 評議員の概要 .....	5
7. 教職員の概要 .....	5
III. 事業の概要	
1. 大学 .....	6
2. 短期大学 .....	13
3. 中学校・高等学校 .....	18
4. 法人事務局 .....	31
5. 2012年度ハイライト（施設・設備関係） .....	39
IV. 財務の概要	
1. 資金収支計算書 .....	41
2. 消費収支計算書 .....	44
3. 貸借対照表 .....	47
4. 財務データの推移 .....	48
5. 財産目録 .....	51
6. 監事の監査報告書 .....	52

## I. はじめに ～ 理事長メッセージ ～

### 愛と奉仕

大阪女学院の歴史的な出版物やパンフレットには、ヘールチャペルの姿が必ず掲載されています。このヘールチャペルは、大阪女学院の正門から真正面に見える歴史を感じさせる建物です。

1945年6月1日の大阪大空襲によって校舎のほとんどを消失した大阪女学院に、戦後の復興期に最初に与えられたものであり、1951年3月26日に竣工式が行われました。竣工からの62年間、中学校・高等学校の礼拝、大学・短期大学のチャペルアワー、入学、卒業、学位授与のたびに、聖書を読み、賛美歌を歌い、祈りを捧げてきた場であり、生徒、学生、教職員が、最も親しみながら、生きていく礎を醸成してきたシンボリックな建物です。

「ヘールチャペルの命名は、創立者A・Dヘール宣教師を記念するものではあるが、この創立者ひとりの意味するものでない。宣教と教育に仕え、生涯を捧げ、日本の土になった6人のこと、A・Dヘール夫妻、弟のJ・Bヘール夫妻、息子のJ・Eヘール夫妻を記念する意味である。」(森田金之助院長によるヘールチャペル献堂の式辞から要約抜粋)

他文化の中に身を投じ、与えられたタラント(才能)を活かして、多様性を受け容れ、革新を起こし、賜物と身体を捧げつくしたA・Dヘール宣教師とヘール一族6人の生き様を想起する時、聖書に示されているイエス・キリストの「愛と奉仕」の生き方を基に、学び、行いをなしてこられたことを確信するものです。

大阪女学院が130年を迎えようとする時、大阪女学院の今を生きる私たちは、その歴史の重みに苦闘するのですが、ヘールチャペルの名前に表わされている「愛と奉仕」の生き方は、私たちを支えるものとして、また変わることがないものとして、貫いてまいります。

2013年6月に、学院の運営体制(理事会・評議員会)を一新いたしました。大阪女学院を愛し、関わり、ご指導・ご協力をいただいております皆さま方と共に、守りぬくことは守り、変わるべきことは変化を遂げてまいります。



理事長 錦織 一郎  
(2013年5月28日就任)